

パーククラブ活動報告 (6~7月)

定点観察調査
 【作業項目】
 ・樹名板の製作、設置
 【時期】 7/2
 【箇所数】 39箇所(右表)
 【作業時間】 2時間
 【人員】19名

早朝踏査
 【時期】 7/13
 【作業時間】 45分
 【人員】 7人

ササユリ調査・保護
 【作業項目】
 ・ササユリ調査(201本)
 【時期】 6/4,6/8
 【作業時間】 4時間
 【人員】 32人

果実調査
 【作業項目】
 ・位置、種類と本数、記録(69本)
 【時期】 6/22
 【作業時間】 2時間
 【人員】 12人

小池探索
 【時期】 6/8
 【作業時間】 45分
 【人員】 7人

棚田水引
 【作業項目】
 ・棚田への水引
 ・ハンノキ試し切り
 【時期】 7/13
 【作業時間】 1.5時間
 【人員】 13人

植生調査
 【時期】 7/2
 【作業時間】 2時間
 【人員】 19人

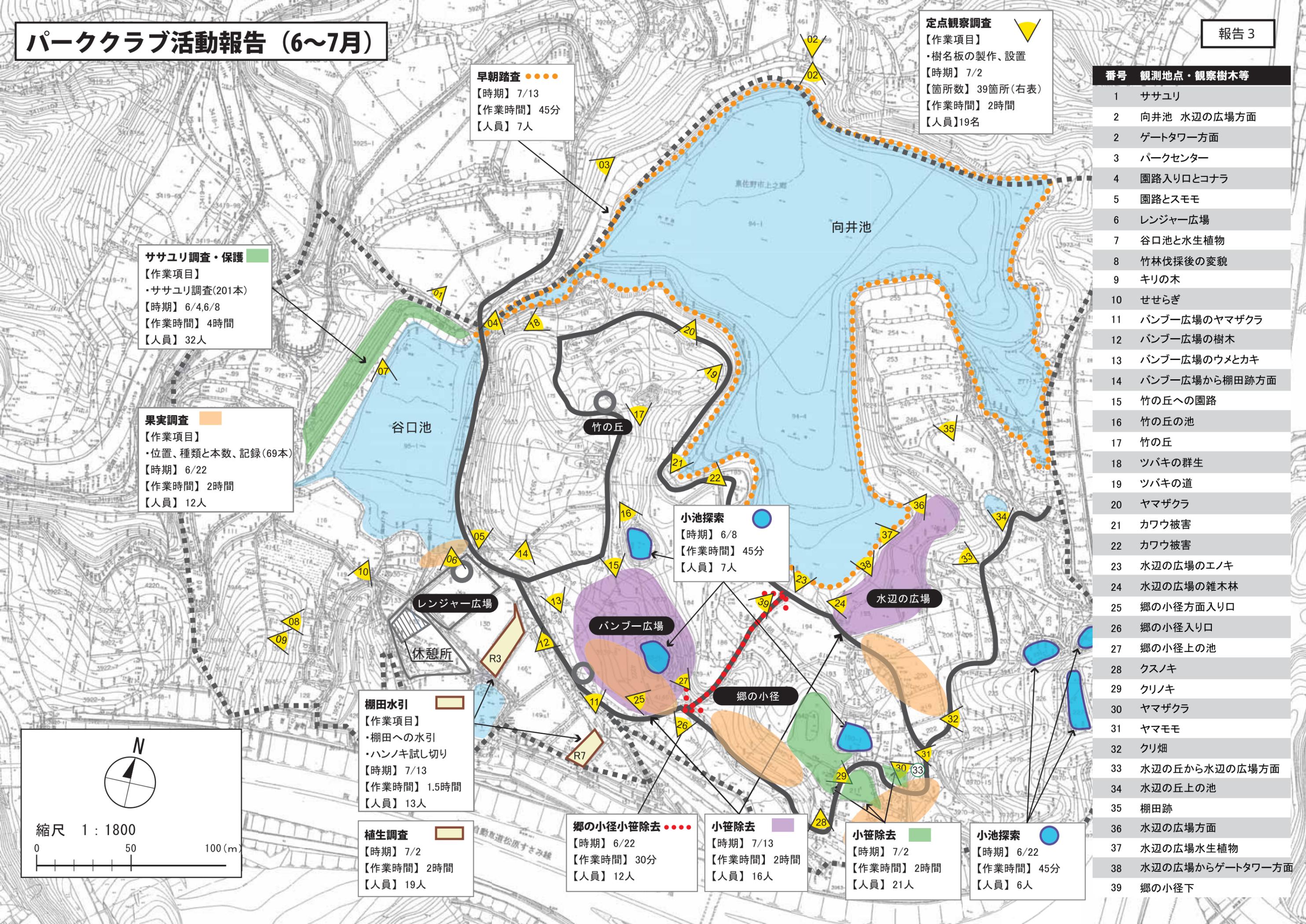
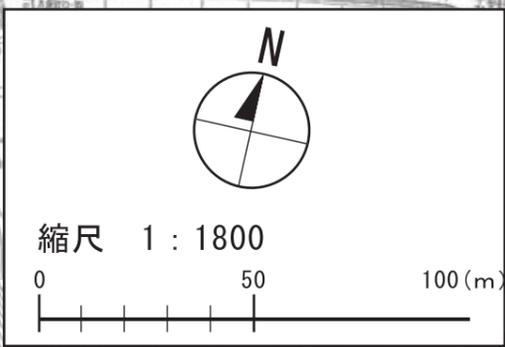
郷の小径小笹除去
 【時期】 6/22
 【作業時間】 30分
 【人員】 12人

小笹除去
 【時期】 7/13
 【作業時間】 2時間
 【人員】 16人

小笹除去
 【時期】 7/2
 【作業時間】 2時間
 【人員】 21人

小池探索
 【時期】 6/22
 【作業時間】 45分
 【人員】 6人

番号	観測地点・観察樹木等
1	ササユリ
2	向井池 水辺の広場方面
2	ゲートタワー方面
3	パークセンター
4	園路入り口とコナラ
5	園路とスモモ
6	レンジャー広場
7	谷口池と水生植物
8	竹林伐採後の変貌
9	キリの木
10	せせらぎ
11	バンブー広場のヤマザクラ
12	バンブー広場の樹木
13	バンブー広場のウメとカキ
14	バンブー広場から棚田跡方面
15	竹の丘への園路
16	竹の丘の池
17	竹の丘
18	ツバキの群生
19	ツバキの道
20	ヤマザクラ
21	カワウ被害
22	カワウ被害
23	水辺の広場のエノキ
24	水辺の広場の雑木林
25	郷の小径方面入り口
26	郷の小径入り口
27	郷の小径上の池
28	クスノキ
29	クリノキ
30	ヤマザクラ
31	ヤマモモ
32	クリ畑
33	水辺の丘から水辺の広場方面
34	水辺の丘上の池
35	棚田跡
36	水辺の広場方面
37	水辺の広場水生植物
38	水辺の広場からゲートタワー方面
39	郷の小径下



パーククラブ会議 概要 (6~7月)

◆第3回パーククラブ会議

- ・日 時：6月22日（水）13：30～16:00
- ・出 席：10名

<検討項目>

1. 第1回運営会議報告
2. コラボレーション区域実施設計委託について
3. ゾーニングアンケート（案）確認と実施
4. 5・6月報告
5. 危機管理マニュアル（案）検討
6. 第2四半期7-9月計画表 最終確認・決定
7. 11月&12月イベント検討

◆第4回パーククラブ会議

- ・日 時：7月17日（日）13：30～16:00

※10時～12時はゾーニングアンケートを実施。

- ・出 席：21名

<検討項目>

1. 8月の活動予定
2. 9月第一土曜日の宿泊（有志）を伴う活動予定
3. 11月第一土曜日のイベントの方針決定
4. 第三四半期の活動予定1. 8月の活動予定

2011.6.19



「うみべの森を育てる会」との協働作業を行いました！

6月19日（日）、せんなん里海公園を中心に活動するボランティア、「うみべの森を育てる会」との交流会、および協働作業を行いました。パーククラブからは25名、うみべの森を育てる会からは11名の参加がありました。

● 挨拶・自己紹介

パーククラブの殿元会長、うみべの森を育てる会の西台会長より挨拶の後、メンバー全員の自己紹介を行いました。

● 活動紹介ビデオ鑑賞

午前中は雨が降っていたため、会議室でうみべの森を育てる会の活動を記録したビデオを鑑賞しました。公園でのピオトープづくりや年間を通したイベントの紹介、日頃の活動内容などをビデオを見ながら解説をしていただきました。ピオトープが年数を経て次第に変化していく様子や、イベントの様子、動物の記録や観察会の様子など、写真だけでなく動画での記録も重要なことがわかりました。また、ビデオ鑑賞の後は、活動をしていく上での問題や苦勞した点、ピオトープの作り方、イベントの内容などについて、パーククラブからたくさんの質問が出てきました。動画だけでなく、ブログや会報など、どのように情報発信を行っているのかを紹介していただきました。

また、うみべの森を育てる会では、「ボランティアはまず自分が楽しむこと。あるがままの自然を大切に、原則として他から持ち込まないということ、自然を楽しむ人たちのサポートをすること」ということを方針とされていることを教えていただきました。



● うみべの森の散策

午後からは雨が上がったので、午前中にビデオで紹介されたピオトープやうみべの森を案内していただき、散策しました。

● 協働作業

うみべの森の散策終了後は、5班に分かれて協働作業を行いました。

- 1班 笹切り除去
- 2班 笹切り除去
- 3班 カブトムシの幼虫保護のため覆い取り付け（カブちゃんベッド）
- 4班 ささゆりの新株が出たエリアの伐採済の笹を除去（新芽を期待）
- 5班 ピオトープに持ち込まれた外種除去

● 反省会

最後に会議室に戻り、反省会で活動を通して感じたことを共有しました。

＜うみべの森を育てる会からの感想＞

- ・短時間に効率的な動きで、作業をする意気込みを感じた。
- ・いつもこんなに働くのかと疑うくらいたくさん事をしてもらった。
- ・グループが息の合った作業振りであった。
- ・お返しに我々も泉佐野丘陵緑地へお手伝いに行きたい。

＜パーククラブからの感想＞

- ・鎌がよく研がれており気持ちよく作業が出来た。
- ・緑に癒されて気持ちよく作業が出来た。
- ・カブトムシの覆いかけなど初めての作業だが知識を出し工夫することが楽しかった。
- ・作業後に出てくるササユリを「郷のユリ」と名付ける、など 楽しい話し合いも出来た。
- ・ウキクサが根があり重たいのに驚いた。

■ プログラム

- 10:00 挨拶、自己紹介
- 10:15 活動紹介ビデオ鑑賞
- 10:55 質疑応答
- 11:30 うみべの森の散策
- 12:15 昼食
- 13:00 協働作業
- 14:00 反省会



1. いいところ=長所、気に入ったところ
 2. 悪いところ=欠点、気に入らんとところ

- <悪いところ>**
- 竹、植生…14件
 - 不法投棄・不法侵入…8件
 - コルゲート管…8件
 - 水辺…7件
 - 高速道路…6件
 - カワウ、イノシシ等…5件
 - アクセス…3件
 - 外来種…3件
 - 活動…3件
 - その他…3件

- <いいところ>**
- 自然が残っている…11件
 - 棚田のある風景…8件
 - 果樹、山桜…8件
 - 水辺の広場からの景観…7件
 - 竹…7件
 - 起伏のある形状…6件
 - 池、小池…6件
 - 里山…5件
 - 樹木…3件
 - ササユリ…2件
 - 水と緑…2件
 - 高台からの景観…2件
 - その他…2件

- 【その他…2件】**
- 都市近郊
 - 西地区（植林地主体）、中地区（棚田、池主体）、東地区（樹林主体）

- 【高速道路…6件】**
- Gから東側、高速道路ののり面
 - 高速道路が近い（うるさい）
 - 高速道路の走行音がうるさい、走行車が目に入る
 - 高速道路が近すぎ景観上問題
 - 高速道路の音が無料だ
 - 高速道路の景観と騒音

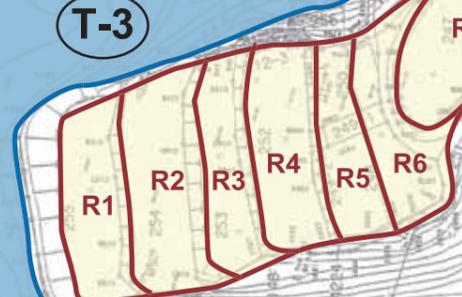
- 【果樹、山桜…8件】**
- 栗、ヤマモモ、スモモ等の果樹
 - 山桜の他クヌギ・ヤマモモ等の果樹
 - ヤマモモ、スモモなどの果樹がある
 - 果実木が多い
 - 昔植えられたであろう果実木が多く残っている
 - 山桜、果樹、コナラ林
 - 山桜の大木が美しい
 - お茶の幼木があること

- 【樹木…3件】**
- 大木 巨木が多いところ
 - 樹木がある
 - 草木の種類がバラエティに富んでいる

- 【棚田のある風景…8件】**
- Gの池から、向井池に向かう棚田（T3の棚田）
 - 棚田の配置がいい
 - 昔の地形（棚田）風景
 - 棚田がある
 - 棚田エリアT-1、T-2
 - 棚田跡（斜面、段々状）の活用が場所毎に図られる

- 【高台からの景観…2件】**
- 小高い丘陵から大阪平野や大阪湾を一望でき、景観に優れている
 - 全体として高台にある（眺望が良い）

- 【池、小池…6件】**
- 適度な大きさの池が2つ+aある
 - イチヨウウキゴケの生息する向井池
 - 水が豊富である
 - 池がある
 - ため池が昔のまま手つかずで残っているところ
 - 独立した池の周りが木にかこまれている



- 【水辺…7件】**
- 全体的に暗くてじめじめした環境
 - 新しい水の供給がないため池群
 - 水の流れが少なく池も汚くあまり生物もいない
 - 水辺広場の排水不良
 - 遊べる水辺がない（ジャブジャブ入れる小川や湿地）
 - 水が美しくない
 - せせらぎ的な清流、小川が無く清涼感、水との触れ合いができない

- 【竹、植生…13件】**
- かなりの場所に竹の伐採後があり片付けられていない
 - 竹が多すぎる
 - 竹の浸食、伐採した竹の根の残り
 - 手が入らず竹林化してしまっている
 - 竹やぶが浸食しすぎ
 - 竹林が多過ぎる
 - 竹数が浸食しすぎ
 - 竹の群生
 - 棚田の竹やぶ化が進み人手のみでの維持管理、自然回復し難い
 - 竹林が多い（一カ所ぐらいにすべき）
 - 元里山が手が入らず放置されている
 - 広大であり、維持管理が大変
 - 山桜以外の花色が少ない事

- 【竹…6件】**
- 竹は厄介だが、使い方によっては貴重な財産
 - 竹林が密集していた頃に比べて野鳥が増えたこと
 - 竹の丘の竹林に実生の木々が生えていること
 - 孟宗竹が美しい=タケノコが採れる
 - 孟宗竹
 - 竹がある

- 【水と緑…2件】**
- 水と緑があること
 - 緑や水がある風景

- 【コルゲート管…8件】**
- コルゲート管水路がそのままになっている
 - 水（水量）に関する条件が悪すぎる
 - せせらぎがない、各池の水がきたない、さびたコルゲート
 - コルゲート水路
 - 鉄の水路と赤茶けた水
 - 独立した池（B?H池）の流入・流出水路がない
 - C池が腐敗臭がし、ザリガニ以外生息していない
 - コラポ区域内に川がないこと

- 【不法投棄・不法侵入…8件】**
- ササユリが咲く頃に花が摘み取られる
 - 梅、栗が実をつけるととられる
 - 不法侵入者、不法投棄が絶えない
 - 不法投棄のごみ
 - 一部フェンスがなく、「泉佐野丘陵緑地」のコラボレーション区域へ外部から簡単に侵入ができ公園が荒らされる
 - 一部地域に『粗大ごみ』等が放置されている
 - 区域内に以前捨てられたゴミが散乱している
 - （たけのこ掘りなど）関係者以外の侵入がある

- 【緑のトンネル…1件】**
- バンパー広場から 郷の小道入り口までの緑のトンネル区間

- 【自然が残っている…11件】**
- 自然に近い風景が残っている
 - 関空エリア、高速道の人工的景観と自然の中で癒しの対比
 - まだ人の手が入っていない。白いキャンパス
 - あるがままに
 - 空気がうまい
 - 自然が多いところ
 - 自然である
 - 雑木林が自然のままに残っている
 - 自然を満喫できる
 - 自然がたつぷり残っている所
 - 長期間手つかずだったため、農業等の使用がなく安心

- 【水辺の広場からの景観…7件】**
- 水辺の広場から谷口池を見た景観
 - 水辺の広場からりんくうゲートの見晴らし
 - 海側への眺望は比較的良好な景観ポイントが多い
 - 水辺の広場からの景観
 - 水辺の広場からの景観
 - 水辺の広場がいい！
 - 水辺の広場にハンモックをあげられること

- 【里山…5件】**
- 昔の里山の景観を残す棚田周辺
 - 池、山、竹林、果樹など里山に適した場所
 - 元里山だったらいい景観が残っている
 - 里山のイメージを残す棚田
 - 里山の問題（竹の浸食、荒れ果てた里山）を提起できる環境下地

- 【起伏のある形状…6件】**
- 平坦な場所と起伏のある場所がある
 - 土地の高低差があつておもしろい
 - 水辺、平地、丘陵地のバランスがよい
 - 比較的平坦で危険箇所が少ない
 - 起伏に富み竹林、雑木林、池、棚田等が多様である
 - 適度な斜度があるため、散歩しても飽きかこない

- 【外来種…3件】**
- 外来種（ブラックバス、ブルーギルがいると思われる谷口池、向井池）
 - 外来種ナルトサワギクについての指導がないこと
 - 特定外来生物のナルトサワギクが生えていること

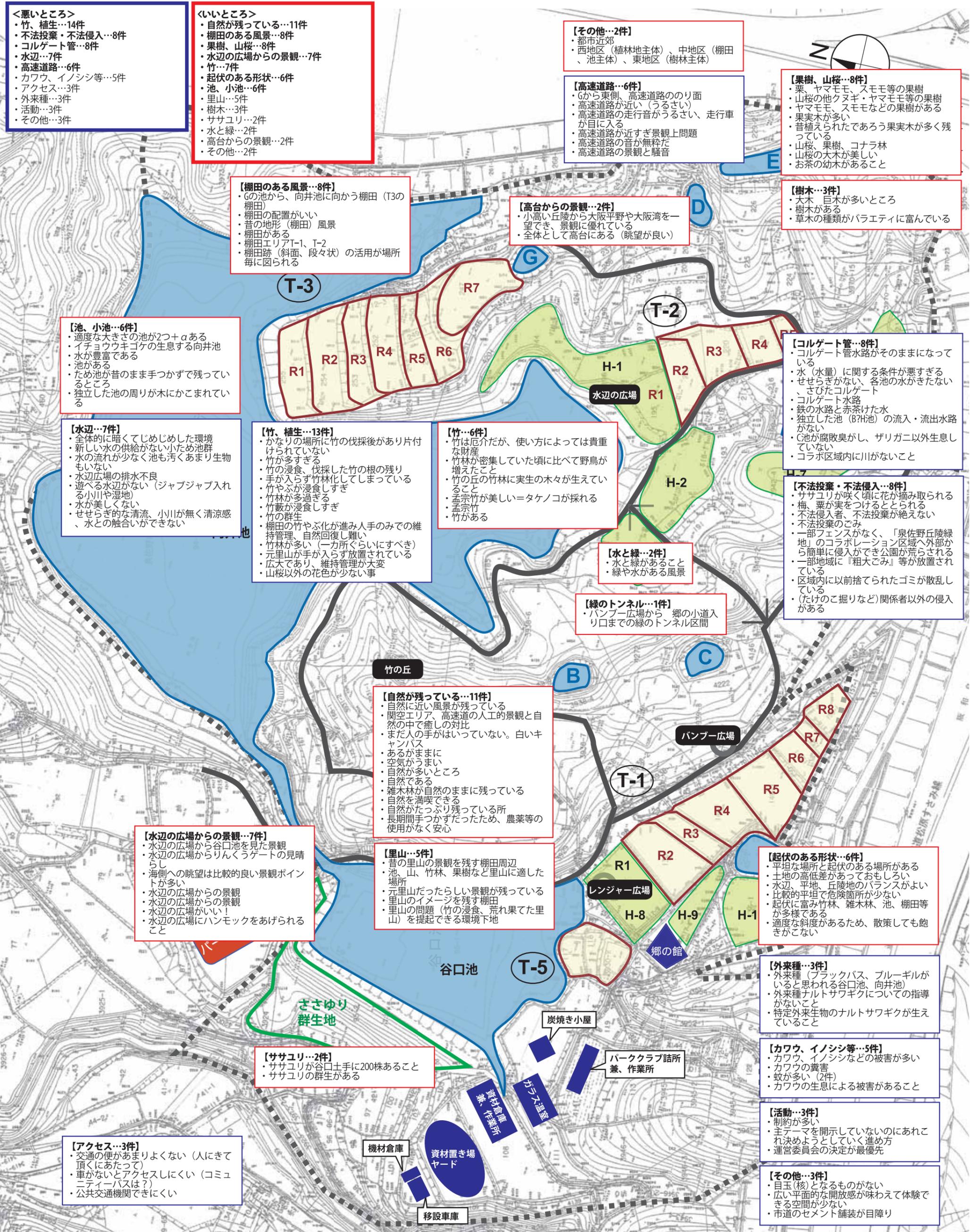
- 【カワウ、イノシシ等…5件】**
- カワウ、イノシシなどの被害が多い
 - カワウの糞害
 - 蚊が多い（2件）
 - カワウの生息による被害があること

- 【活動…3件】**
- 制約が多い
 - 主テーマを開示していないのになあれこれ決めようとしていく進め方
 - 運営委員会の決定が最優先

- 【その他…3件】**
- 目玉（核）となるものがない
 - 広い平面的な開放感が味わえて体験できる空間が少ない
 - 市道のセメント舗装が目障り

- 【ササユリ…2件】**
- ササユリが谷口土手に200株あること
 - ササユリの群生がある

- 【アクセス…3件】**
- 交通の便があまりよくない（人に来て頂くにあたって）
 - 車がないとアクセスしにくい（コミュニティバスは？）
 - 公共交通機関でにくい



3. 現地調査を通じて明らかになった問題点・課題

<問題点・課題>

① 【竹林の整備…10件】

② 【整備、周遊路…10件】

③ 【池の活用…8件】

④ 【カワウ等の動物…4件】

⑤ 【耕作放棄…1件】

⑥ 【外部からの進入…1件】

⑦ 【高速道路…1件】

① 【竹林の整備…10件】

- ・竹が繁茂しすぎている、元々の樹林に浸食してからしていること
- ・放置した除抜した竹の処分とゴミの撤去
- ・竹林管理ができてなく現在は将来像もなく伐採しているだけだが竹林をどうしていくかもっと明確にすべき
- ・昔の地形を出現するための竹除去と笹、草刈り
- ・園路、眺望、景観、樹林地帯の明暗等すべてを考慮した樹木竹林の伐採の検討
- ・竹の伐採に時間と手間がかかり過ぎる
- ・竹の密集地の伐採が完了していないこと、伐採後の幼竹や下草の伐採が大変なこと
- ・竹林の整備（具体的な整備が必要）
- ・竹林、倒木が多い
- ・竹の伐採、除竹に時間をとられており、先の展望が見えてこない
- ・計画的に『残す竹藪』と『残さない竹藪』を決め、違う樹木を目的意識を持って植樹

② 【整備、周遊路…10件】

- ・向井池周遊道路をつくりたいが、かなりの大掛かりな工事が必要
- ・新しく人を呼ぶための道路等の計画が公園として開く際一体化して計画されていない
- ・公園内の道が無いから入っていけない(仮道を作る)
- ・周遊道、棚田跡へ道が整備されていないこと
- ・T-1の用水路側の畦にゆったり感がない
- ・安全管理面でため池や斜面が多く規制や設備面での対応をどのようにすれば自然のなかで楽しんでもらえるか。
- ・通路が増えるに従って木の痛みが目立ち始めたところ
- ・移設や不要な木の撤去の検討
- ・季節によって変化する草木。猛烈に生い茂っている今と冬では全く違うから季節ごとの変化を想定して色々判断していかないとだめなのかなと思います。
- ・『活動人数に見合った作業範囲』に見直し、活動範囲を少し狭くして季節毎に『進行状態が見えるよう』にすべきと思う。
- ・『草刈り機等の機械を導入』（ボランティア保険の見直し・機器取扱い・安全講習会等も必要）

③ 【池の活用…8件】

- ・水の利用がなされていない。
- ・水路（コルゲート管含む）の活用と独立した池の利用
- ・最大の問題点は水の流れがないこと、ため池の水質が極端に悪い事である、向井池、谷口池及び全ての小池の汚濁改善、水量維持と（川）の流れを確保する。棚田向けの井戸も視野に入れる。この緑地最大のシナリオ、環境問題ではないでしょうか？
- ・貧弱な淡水魚生息状況、および小ため池群の汚れ
- ・古くは灌漑用として利用されてきたと思われる、小さな溜め池がたくさん残っているが、水質の悪化と悪臭の為景観を損ねている、この池の水の浄化と利用方法の検討。
- ・（があるにも関わらず）水源の確保が困難
- ・向井池、谷口池の水深を浅くする
- ・広いため全体を意識して作業するのが困難

④ 【カワウ等の動物…4件】

- ・カワウ、イノシシの被害が多い
- ・カワウの糞害
- ・蚊が多い（2件）
- ・カワウの生息による被害があること

⑤ 【耕作放棄…1件】

- ・以前耕作されていた土地（田畑）が荒れ放題でセイタカアワダチソウが繁茂している

⑥ 【高速道路…1件】

- ・高速道路と接する部分の境界対応

⑦ 【外部からの進入…1件】

- ・外部からの侵入者による花、実の持ち帰り

4. 緑地全体の設計テーマor 目標イメージ

<テーマ>

- ①【里山の再生（昭和初期の里山の再生および風景の再現）…6件】
- ②【樹木や生物の保護、保存、希少種が残り豊かな自然のある緑地…5件】
- ③【幅広い年代の人のふれあい…4件】
- ④【自然の風景を楽しむ…3件】
- ⑤【公園・広陵地・広場】 ※その他さまざまな意見の要約
- ⑥【高齢者にも優しい公園】 ※その他さまざまな意見の要約

①【里山の再生（昭和初期の里山の再生、風景の再現）…6件】

<概要>

- ◆昭和初期の農村部・里山の再生
- ◆年間を通して木々や植物が楽しめる

<目標イメージ>

- ◆昭和30年代の里山の風景を再現
 - ・里山林を整備する
 - ・落葉と常緑の混成林(落葉比率60%)
 - ・炭焼き
 - ・水田、畑の再現
 - ・果樹(梅、ウモモ、栗)の栽培
 - ・水車の導入
 - ・井戸の設置(畑に水を供給するため)
 - ・お茶の栽培
 - ・春は山菜、秋はきのこ取り
 - ・しいたけ栽培その他
- ◆1年中楽しめる魅力ある里山にする(棚田+ため池+樹木+川+山菜+草花+果実+生物+山(丘)+道)
- 風景：新芽、新緑、花、結実、紅葉、落葉のすべての四季が楽しめること
- ◆泉州の里山風景の再現で人と自然のかわり方を勉強していく場を提供する
- ◆昭和初期の農村部、里山の再生、復元
- ◆今より、もっと人為的な介入があること畑や田んぼとか。
- ◆持続可能な農業エリアを作っていけたらおもしろいと思う

④【自然の風景を楽しむ…3件】

<概要>

- ◆癒し、憩いのある空間(緑地)
- ◆ここに来ることで気分を切り変えることのできる緑地

<目標イメージ>

- ◆シニア向けの癒し、憩いの空間であること(静寂、開放感、休息)
- ◆自然木、雑木林、竹林の中を風が吹き抜け、森林浴で癒される公園
- ◆来園者が、優しい気持ちになり、くつろげる空間にすべき。
- ◆わくわくする空間がいいな
- ◆緑のなかで、マイナスイオンをいっぱい浴びて、メンタルヘルスが回復するような気分させる公園になればなあと思います。

②【樹木や生物の保護、保存、希少種が残り豊かな自然のある緑地…5件】

<概要>

- ◆特定外来種は除去し、希少種、普通種に優しい緑地
- ◆人工物が少なく、自然を生かし、多様な生物が生息する緑地

<目標イメージ>

- ◆貴重種の保存(ササユリ)と特定外来生物(ナルトキワギク)の除去
- ◆人工構造物を使わない整備を目指す
- ◆生物多様性のある公園を目指す
 - ・野鳥や昆虫など生き物がたくさん生息する環境をつくる
 - ・初夏には蛍の乱舞
- ◆果樹木を保護
 - ・花の咲く木の保護
- ◆里地里山ビオトープ(この広い緑地、公園全域がビオトープ、いわば泉佐野丘陵緑地ビオトープ)いろいろな生物が生息できる環境を整備する。(希少種だけでなく普通種にも優しい、多くの種が共存できる環境作り)
- ◆自然を残し、危険性を少なくする

⑤【公園・広陵地・広場】

<概要>

- ◆子供たちが体験や学習ができる場所
- ◆広場や起伏など地形をうまく利用した公園

<目標イメージ>

- ◆アドベンチャー公園を目指す
 - ・大人が何もしないうちに「危ないからやめなさい」と言わない
 - ・好奇心を持ったものには、何に対してもチャレンジさせる
 - ・公園内で怪我をしても、血止め草などの自然の止血をする
 - ・危ない毒草毒虫の知識を教え(ウルシ、マムシ)毒草毒虫でも約に立つ事も教える
- ◆他の公園や施設にないオリジナルを目指す
- ◆高低差をうまく利用した公園作り
- ◆街中では味わえない自然豊かな公園
- ◆水と緑、動植物と親しむ丘陵地
- ◆静かに自然の中を散歩できる空間
- ◆広場や起伏を利用して、子供が自然の中で遊べる空間
- ◆なんでも体験、経験、学習できる緑地にすること
- ◆昔の田畑を農地や広場として活用、竹林跡地は落葉樹の林とし、親水場所、水路の確保

③【幅広い年代の人のふれあい…4件】

<概要>

- ◆幅広い年代の人と自然とのふれあい
- ◆年間を通して子供たちも年配者も楽しめる

<目標イメージ>

- ◆出来るだけ自然なままの形をのこし、季節の移り変わりが感じられて大人子供が年間を通して集まれる場所癒される空間、子供たちが楽しく遊べる空間
- ◆子供と老人が楽しめる、学校や老人ホームの方に定期的に来てもらえる1年間スケジュール
- ◆現在の景観をできる限り維持しつつも幅広い年代の人が憩える場としたい
- ◆農業体験や水生生物の再生などを通じて、コンクリートで育った子供たちに土や水とのふれあいの場を提供したい
- ◆泉州里山いやしとふれ愛公園(農と土チーム)①優しい自然とのふれ愛②鳥や樹木、風や水の自然の声とのふれ愛③子供のはずむ声が聞こえる公園④ゆったりと歩み、立ち止まり、空気にふれるだけで癒される公園

⑥【高齢者にも優しい公園】

<概要>

- ◆60歳以上の人をターゲットにし、自然素材を活かした魅力的な場所での自然観察ができる

<目標イメージ>

- ◆細い園路でインパクトのあるエリアをつなぎ自然観察をゆったりと出来るような森
- ◆またフェンスが必要な場合、竹、笹、樹木、つる等の組み合わせで作成
- ◆集客が望める特徴のあるアピールゾーン

5. 目指すべき目標or思い (広場エリアH)

<H1全体に関する意見>

遊びと学び、レクリエーションゾーン (動的)

【水辺の広場】

- 水辺 (遊びと学びの) の広場 (H-1、H-2)
- 水辺の広場と連動
- レクリエーション広場、イベント広場、ハンモック広場、親水広場
- 水辺の広場=お弁当広場、草原尾のような下地にして、レジャー、イベント広場

【遊び】

- コルゲート管水路を石でできた水路に直す
- 催し物をしたり、ボール遊びやお弁当を食べられるような開けて歩きやすいエリア

【そのまま】

- そのまま広場、空間地とする (事後の状況に応じて活用する)
- そのままにしておく

【整備】

- 土壌の水はけを良くし、周辺の木々の選定をし日光を取り入れて明るくする
- 排水整備、風が良く通る・光がこぼれ落ちるように木、竹少し間引き憩いの広場に (H1-H3)
- 東屋風休憩所、トイレ

<現状>

- 池へのアプローチ可能な親水性
- 広い平地と灌木
- 前面が池、背面が森林

<イメージ>

- この公園の中心的な空間
- 色んな体験 (勉強) の実施が計画できる拠点

<これからすること>

- 水辺へ行ける、遊べるアプローチの整備
- 水辺および周遊の歩経路の整備
- 現状の維持管理程度

<最終的な景色>

- 水生生物、野鳥、昆虫を身近に感じられる
- しばらく時間が潰せ、勉強会などでゆっくり時を過ごす

<広場全体に関する意見>

- 全体を小さく区切って貸し農園
- 樹木の整理や除草は必要であるが現状の変更は必要ないと思われる。ましてや施設等の建設は素晴らしい景観を殺してしまうのは必至。
- 開かれた景観、明るい環境にする
- ゆっくり過ごしたり、イベントする場所
- 有る区域に花の咲く樹木で多い尽くす

<H4に関する意見>

休憩ゾーン (山桜の鑑賞、休憩ゾーン)

- 自然林 (H-4~H7)
- 除竹と下草刈りで美しい環境を維持 (H-4~H7)
- 休憩所として整備 (周辺に花壇) (H-4~H5)
- 竹林、桜の名所
- カブト虫幼虫飼育
- ベンチ、トイレ

<H7に関する意見>

観察 (昆虫・野鳥) ゾーン

- 樹木保存ゾーン (一連の樹木保存ゾーン)
- 野鳥や昆虫などを観察できるエリア
- 昆虫観察

<H6に関する意見>

現状のまま保全するゾーン (静的)

- ヒノキ林保存ゾーン
- ヒノキの間伐をしヒノキを成長させる
- 粟、枇杷、柿を植える
- しいたけ栽培

<H2に関する意見>

景観を楽しむゾーン

- ベンチ、花壇 (H-2-3)
- ベンチ設置 (H-2-3)
- 植樹 (オーナー制度)
- 観測所
- 周辺の樹木を選定と陽を入れる
- 草原のような下地にして、レジャー、イベント広場 (H2~H7)
- 池も見渡せるツリーハウス
- レクリエーション広場、イベント広場、ビオトープ観察ゾーン
- H池から流れる水を利用して、ビオトープ池を設置する
- 山側にシイタケ栽培をする

<H3に関する意見>

キャンプ・アスレチック (動的)

- キャンプ (野外生活) ゾーン
- 隣接する傾斜を利用してアスレチックのような遊びができるエリア
- 池の廃木を取り去る

<H8に関する意見>

イベント、集合場所

- 広場 (H-8~H10)
- レジャー広場
- イベント用
- イベント広場
- レジャー広場
- 団体の集合場所や作業準備が

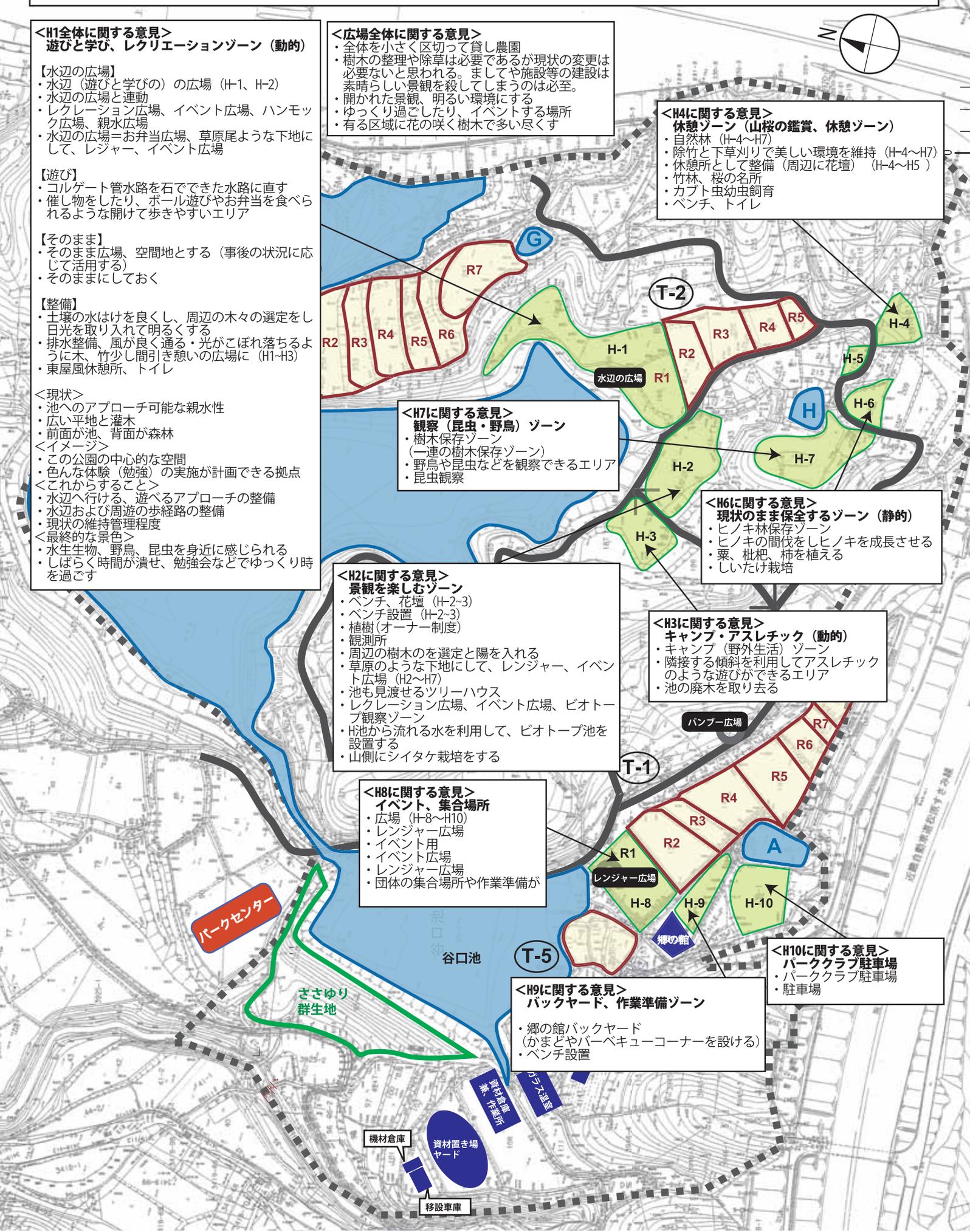
<H9に関する意見>

バックヤード、作業準備ゾーン

- 郷の館バックヤード (かまどやバーベキューコーナーを設ける)
- ベンチ設置

<H10に関する意見>

- パーククラブ駐車場
- パーククラブ駐車場
- 駐車場



5. 目指すべき目標or思い (池・小池エリア)

<A~Hに関する意見>

【水質浄化】
 ・どの池も水質浄化をやってみたい
 ・水質改良と水の利用方法の検討
 ・水源とする

【散策】
 ・向井池~H池の「池めぐり探検ウォーキングコース」の設定
 ・池めぐりコースとして散策路を作る
 ・各池にシンボル樹林、景観、生物を設定したカードに記入する=認定書

【環境・その他】
 ・一部の小池をつなぐパイプを埋め込み湧き水のように流れを作る
 ・池にも一面に花を咲かせる
 ・現状維持

<Fに関する意見>

・小池のオリエンテーリングができるように小道を整備
 ・林間にある池で景観もよく散策路を設置して舞われるようにする。合わせて水の浄化対策

<Eに関する意見>

・一年に一つの池のどぶさらいをし順次、きれいにしていく

<小池ビオトープに関する意見>

(暗い、明るい、浅い、深い等いろいろな環境)
 ・多くの種の保全のため、いろいろな生態系を創り出す。
 ・池干しの実施、落ち葉・堆積物除去。水質浄化。
 ・池周辺の樹木整備・遊歩道整備。

<Gに関する意見>

・水の浄化が可能なら残して水生植物を植える

<Hに関する意見>

水質改善、散策路の整備
 ・モリアオガエルが生息するような池にする
 ・池の傍を通るH3からH7に抜け

<水辺ビオトープに関する意見>

・湿性植物園？
 水生植物観察用デッキ(水上デッキ)
 ・木道整備(水質が悪いので、直接、水にふれるのは?)

<Iに関する意見>

水質改善
 ・池の水の除去と堆積物の除去をした後のネジキ池の水生生物の観察
 ・<現状>
 ・傾斜地に密集した竹林が樹木を覆っている

<Bに関する意見>

水質改善
 ・竹炭による浄化活動後の竹の丘池の水生生物観察
 ・棚田に利用しないのなら埋設し別途利用を考える (B~C)
 ・水の浄化が難しくれば埋める (B~H)
 ・池の周りは整備して景観を保つべきであるが、無理にいらなくても良いと思う。ため池のため、水は循環してないので、ビオトープなどとしていこうなら限度があると思われる (B~H)

<Aに関する意見>

棚田への給水・水生生物観察

【棚田への活用】
 ・棚田用
 ・棚田の給水を目的にする
 ・棚田水利供給と水生植物観察
 ・棚田への水の供給をする

【水生動物】
 ・小さな池ではこの池だけが、水が流入しておりR1~R8の棚田跡を含めて上記のように水生植物水生動物の生息地としてはどうか
 ・水生生物が一番豊富な池でそれを保護する
 ・水辺の生き物が棚田と行き来できる環境を残す

【水質浄化】

・水質・汚濁改善後利用方法検討、現状では案内活用不可

<向井池に関する意見>

水辺の活用 (動的) ゾーン
 ・水辺活用エリア
 ・水辺の植物観察ゾーン
 木製デッキを設けた水辺散策

【親水】

・水上アドベンチャーゾーン
 船着場を設けてヨット、カヌーで水上散策
 ・手作り竹いかだで伐採放置竹を除去し、その後水上散策に活用する
 ・水辺の広場から棧橋をつくる親水エリアとする
 ・仮設橋ができたならラジコンボートを浮かべ競争したい
 ・水辺の広場前に棧橋(水生植物の観察目的)
 ・竹で作ったイカダを活用して、各種活動などに利用する
 ・水遊びの場所としてボートを浮かべ浮かす棧橋等整備する(水質改良?)

【環境】

・湿原植物保存ゾーン
 できる限り工作物を設けなくて、湿原を保存し鑑賞できるエリアにする
 ・水質・汚濁改善、周遊路
 ・イチョウウキゴケの保護、ヨシ原の保全

【景観】

・景観を意識した池の淵の整備(コンクリートをなんとかする)
 ・水辺に放置されている廃木を取り除く
 ・鵜のフン書は、何とかすべき

【散歩】

・散歩のための周遊歩道
 ・向井池周遊散策路
 ・周遊回路作成

【野鳥】

・カワウがたくさんいる当たりの水際に野鳥観察小屋を設置

<谷口池に関する意見>

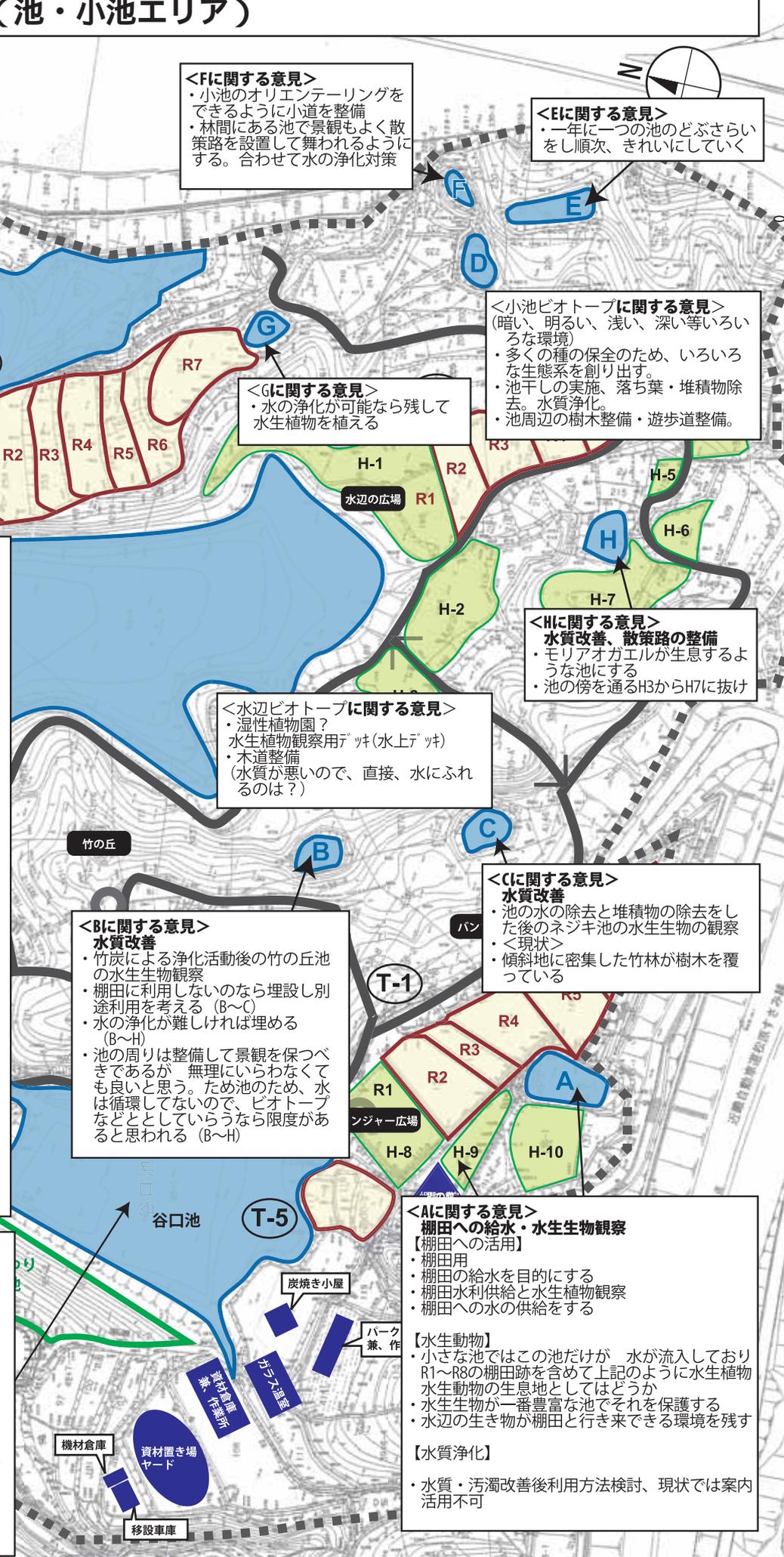
ササユリ保護、景観維持ゾーン (静的)

・水辺の憩いゾーン
 レンジャー広場隣接竹林を伐採し、東屋やベンチを設置して水辺で憩う
 ・レンジャー広場前の竹を伐採し景観を保つ

【ササユリ】

・土手のささゆりを守り育てる
 ・堤防をササユリ群生地として保護育成
 ・水質・汚濁改善、周遊路確保もささゆり群生区域鑑賞懸案
 ・ササユリ鑑賞
 ・堰堤の下に笹ゆり鑑賞路の整備、同観察、管理の小道整備

・周辺整備をして全水面が見えるようにし釣りができるように



5. 目指すべき目標or思い (棚田エリア T1)

<T1全体に関する意見>

農業 (水田・畑)、イベント (R1~R2)

【花】

- ・7つの棚田を1段ずつ違った花を季節ごと咲くようにする。
- ・季節の花の棚田
- ・一番先に目にはいるゾーンとして、花いっぱい棚田ゾーン

【農業】

- ・水田、畑などの農作業体
- ・水の便のいいR-2-R4は水田、水の便の悪いR-5-R8は畑用に使用する。
- ・食育の観点から棚田を生かしてもち米、さつまいも、たまねぎ、水茄子をイベント用として育てる。このエリアのみ、なんとか水の確保の可能性はある。
- ・この場所はエリア内で水の便が一番良いので農作物作りに利用する。育てる作物はイベント内容に合わせる (米、もち米、イモ類、まめ類等)
- ・体験農作業に利用常時水を張りトンボ、メダカ等水生生物が常時観察出来るようにする。

・農業

<現状>

- ・棚田跡地、水路及びため池、灌木が耕地後にある
- ・高速道からの音、車が見える
- ・水路 (排水路) と池と水田の関係が残っている

<イメージ>

- ・水の利用が見える (水路、ため池、放流)
- ・畑としての空間と広がりのある空

<これからすること>

- ・水の流入~棚田への流出入~ため池~放流の水系の整備
- ・棚田の面影、雰囲気復活 (部分耕作、水張)
- ・耕地跡、平地、あぜ道の整備

<最終的な景色>

- ・谷間の風情、山間のひろがりのある空間
- ・里山でのかつての人の営みを感じる
- ・空を感じる
- ・水生の山菜、釣り、水車

【イベント】

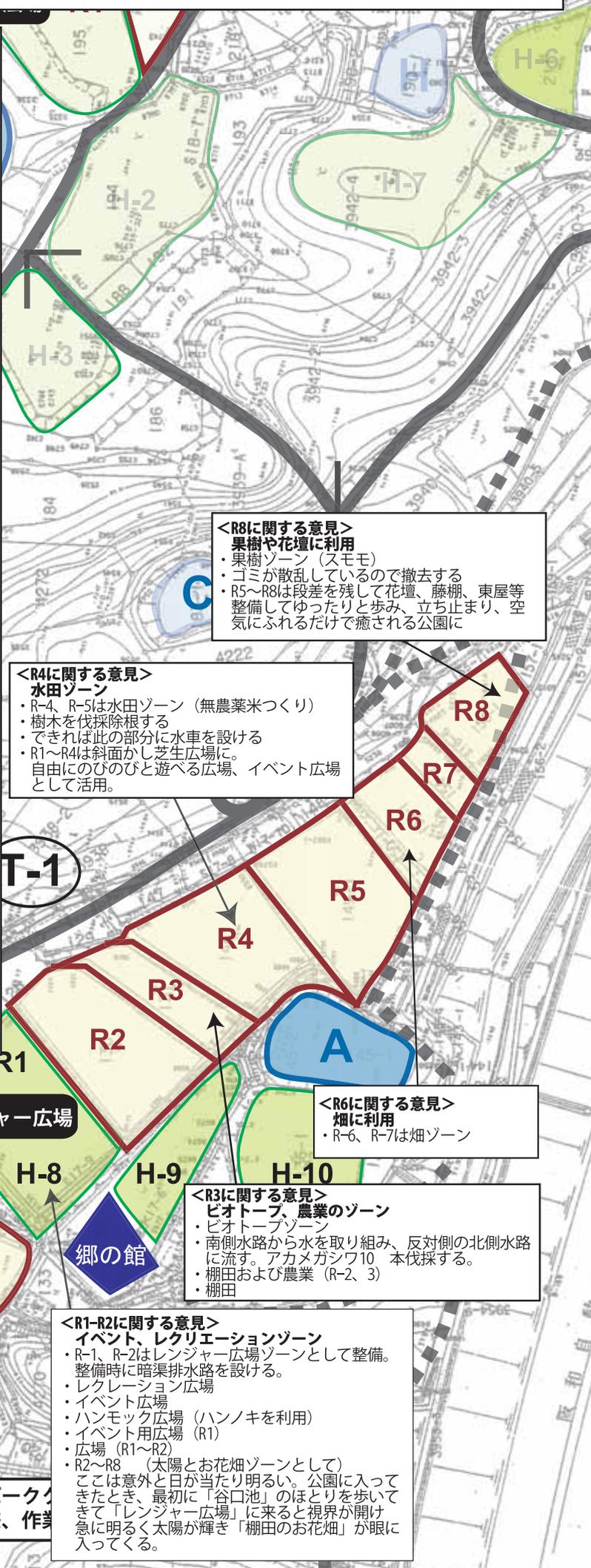
- ・モトクロス
- ・レンジャー広場は多目的広場 (イベント用)
- ・来園者が最初に接する場所。
- ・子供達が遊べる広場、小農作地、ピオトープとして活用

【環境】

- ・冬期も水を張った水田で生き物の多様性の復元
- ・昔ながらの農村、里山の景観環境の復元
- ・棚田ピオトープ
- ・2~3枚程度を水田にし、残りは湿地化する。
- ・水路整備~湿地内に水路を整備する。(クネクネ水路)
- ・湿地内に木道を整備し、生物観察をしやすくする。(もしくは湿地内に島を作り、丸太橋をかける)
- ・湿地内には、景観上枯草は必要かも。湿地の水深は5~40cm程度の变化をつける。水田は冬期湿水水田(冬水たんぼ)とする。
- ・棚田跡一枚一枚を土で止めて上から水が絶えず流れるようにして年中水を張って水生植物、水生動物の生息する環境を形成する。

【その他】

- ・棚田としては現存のまま残し、雑草等が生えないように管理する。
- ・子供が泥遊びできるような田んぼに。
- ・田畑を復活する場合、自前の休憩所、例えばスモモのある奥に以前、竹の丘の休憩所作る予定の設計図案のような建物を作る
- ・森の中の解放された空間を演出し、竹林や樹林に覆われた公園の閉塞感を解放する。



<R8に関する意見>

果樹や花壇に利用

- ・果樹ゾーン (スモモ)
- ・ゴミが散乱しているので撤去する
- ・R5~R8は段差を残して花壇、藤棚、東屋等整備してゆったりと歩み、立ち止まり、空気にふれるだけで癒される公園に

<R4に関する意見>

水田ゾーン

- ・R-4、R-5は水田ゾーン (無農業米づくり)
- ・樹木を伐採除根する
- ・できれば此の部分に水車を設ける
- ・R1~R4は斜面か芝生広場に。自由にのびのびと遊べる広場、イベント広場として活用。

<R6に関する意見>

畑に利用

- ・R-6、R-7は畑ゾーン

<R3に関する意見>

ピオトープ、農業のゾーン

- ・ピオトープゾーン
- ・南側水路から水を取り組み、反対側の北側水路に流す。アカメガシワ10本伐採する。
- ・棚田および農業 (R-2、3)
- ・棚田

<R1-R2に関する意見>

イベント、レクリエーションゾーン

- ・R-1、R-2はレンジャー広場ゾーンとして整備。整備時に暗渠排水路を設ける。
- ・レクリエーション広場
- ・イベント広場
- ・ハンモック広場 (ハンノキを利用)
- ・イベント用広場 (R1)
- ・広場 (R1~R2)
- ・R2~R8 (太陽とお花畑ゾーンとして)
- ・ここは意外と日が当たり明るい。公園に入ってきたとき、最初に「谷口池」のほとりを歩いてきて「レンジャー広場」に来ると視界が開けて急に明るく太陽が輝き「棚田のお花畑」が眼に入ってくる。

谷口池

レンジャー広場

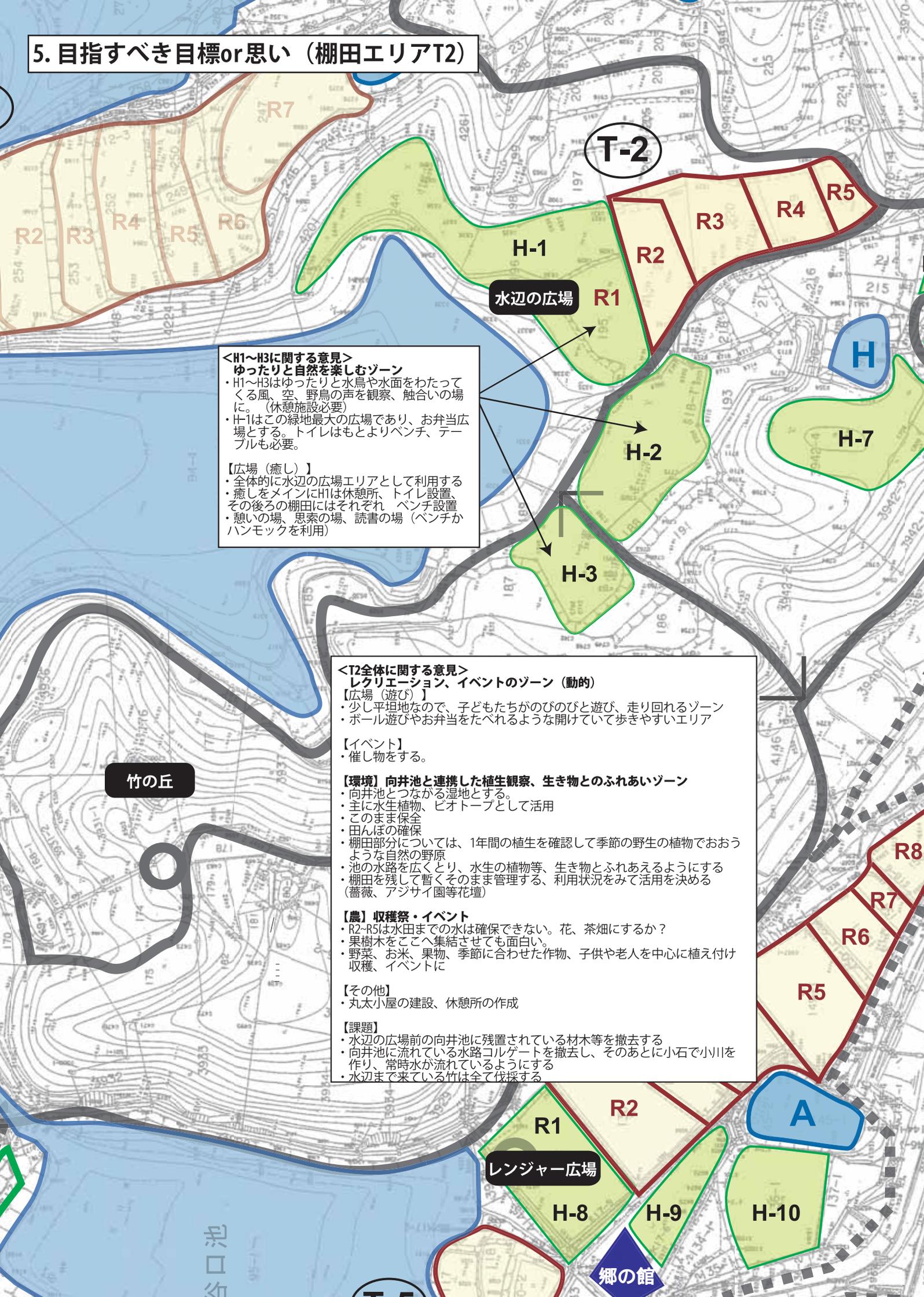
郷の館

炭焼き小屋

パーク
兼、作業

T-5

5. 目指すべき目標or思い（棚田エリアT2）



T-2

<H1~H3に関する意見>
ゆったりと自然を楽しむゾーン
 ・H1~H3はゆったりと水鳥や水面をわたって
 くる風、空、野鳥の声を観察、触合いの場
 に。(休憩施設必要)
 ・H1はこの緑地最大の広場であり、お弁当広
 場とする。トイレはもとよりベンチ、テー
 プルも必要。
【広場（癒し）】
 ・全体的に水辺の広場エリアとして利用する
 ・癒しをメインにH1は休憩所、トイレ設置、
 その後の棚田にはそれぞれ ベンチ設置
 ・憩いの場、思索の場、読書の場（ベンチか
 ハンモックを利用）

<T2全体に関する意見>
レクリエーション、イベントのゾーン（動的）
【広場（遊び）】
 ・少し平坦地なので、子どもたちがのびのびと遊び、走り回れるゾーン
 ・ボール遊びやお弁当をたべれるような開けていて歩きやすいエリア
【イベント】
 ・催し物をする。
【環境】 向井池と連携した植生観察、生き物とのふれあいゾーン
 ・向井池とつながる湿地とする。
 ・主に水生植物、ビオトープとして活用
 ・そのまま保全
 ・田んぼの確保
 ・棚田部分については、1年間の植生を確認して季節の野生の植物でおおう
 ような自然の野原
 ・池の水路を広くとり、水生の植物等、生き物とふれあえるようにする
 ・棚田を残して暫くそのまま管理する、利用状況のみて活用を決める
 (薔薇、アジサイ園等花壇)
【農】 収穫祭・イベント
 ・R2-R5は水田までの水は確保できない。花、茶畑にするか？
 ・果樹木をここへ集結させても面白い。
 ・野菜、お米、果物、季節に合わせた作物、子供や老人を中心に植え付け
 収穫、イベントに
【その他】
 ・丸太小屋の建設、休憩所の作成
【課題】
 ・水辺の広場前の向井池に残置されている材木等を撤去する
 ・向井池に流れている水路コルゲートを撤去し、そのあとに小石で小川を
 作り、常時水が流れているようにする
 ・水辺まで来ている竹は全て伐採する

竹の丘

レンジャー広場

郷の館

利口幼

5. 目指すべき目標or思い（棚田エリア T3）

T-3

<R1>
・R2~R7は芝生の広場

R1

R2

R3

R4

R5

R6

R7

<R7> 棚田の復元ゾーン

- ・棚田の復活。
- ・D~G池の水管理と連動
- ・Gの水を利用した棚田づくり
- ・どうしても棚田で米を作りたければここで。
- ・棚田の再生

<R7> 棚田の丘

（休息感、リフレッシュ感を与えてくれるエリア）

- ・広がりのある、遮るものがない、空が良く見える見通しの良い丘
- ・子供が走り回ったり、寝転べる安らぎの丘。
- ・向井池が一望、水鳥（渡り鳥）の観察ができる丘（整備が進めば、恐らく相当数の野鳥が飛来するものと期待）
- ・展望を遮るようなものは、伐採する。
- ・芝生にするかどうか？
- ・あずまやの設置

<R7> 棚田ピオトープ

- ・2~3枚程度を水田にし、残りは湿地化。
- ・水路整備-湿地内に水路を整備する。
- ・湿地内に木道を整備し、生物観察をしやすく。
- ・湿地内には、景観上枯刈たぐらいは必要かも。
- ・湿地の水深は5~40cm程度の変化をつける。
- ・水田は冬期湛水水田（冬水たんぼ）とする。

向井池

竹の丘

<T3>

<R6~R7> 見晴らしを楽しむゾーン

- ・ベンチ、花壇
- ・芝生の広場
- ・見晴らしがよい場所なので紅葉が楽しめる落葉樹を植え、下は芝生やシロツメグサなどの草原にして家族が弁当を広げて休憩できる場所に。
- ・景色がいいので、ここに水田があれば昭和のんびり感があじわえて優しい気持ちになれるんじゃないかとおもいます。

【農】栽培ゾーン

- ・それぞれの棚田に菜の花、蓮華、等が育てられるまで整備、その後作物の体験場とする。
- ・お茶の栽培、しいたけ栽培
- ・野菜、お米、果物、季節に合わせた作物、子供や老人を中心に植え付け収穫、イベントに活用。
- ・柑橘類の植えてある段々畑
- ・向井池周遊の橋をつくり貸し農園にする。4mを一区画にする。

【施設】

- ・コラボ区域の一番奥で休憩所、トイレも設備したい。
- ・自炊のできる丸太小屋による宿泊施設の設置
- ・植生調査がまだなのでなんともいえませんが、水がない、拠点より遠いこともあり、棚田を転用止む無し。先端から遊歩道栈橋を正対岸or右対岸に架ける。
- ・果樹栽培とりあえず渋柿栽培。日本ミツバチの養蜂
- ・ヤギとかニワトリなど少しだけ飼う

【野鳥】野鳥観察

- ・野鳥観察小屋をつくる。
- ・野鳥観察

【環境】

- ・細竹を切った根を抜根する
- ・棚田の中に生えている樹木は全て伐採する。
- ・全体的に大きな木などがあるため、樹林回復エリアとする
- ・回復する森は、落葉樹主体の森にする
- ・回復後は、野鳥観察ゾーン（観察小屋を設ける）
- ・あまり手を入れず、樹木や草などの植生を観察できるエリア
- ・棚田の下と横の池の周辺の木を枝打ち又は間伐し、各棚田より向井池と大阪湾が眺望できるようにする

<現状>

- ・密集した竹林と浸食された森林
- ・広大な棚田跡地を外周の森林が覆っている
- ・高速道路料金所に隣接

<イメージ>

- ・棚田エリアから向井池さらに遠景を眺望できる
- ・その他のエリアは管理された竹林と樹木の混合風景
- ・ゆっくりと昔の作業路を回遊する

<これからすること>

- ・棚田エリア外周の畔、小道、作業路を復活
- ・棚田はそのまま、一部間引き伐採し池が見える様
- ・竹林の伐採管理程度

<最終的な景色>

- ・棚田跡を回遊して、竹林、森林を巡る
- ・野鳥観察小屋

バンブー

R3

5. 目指すべき目標or思い (その他)

◆向井池周遊園路

- 向井池の土手に桜を植える
- 水質浄化を図り、水鳥(渡り鳥)が多く飛来する池にしたい。
- 向井池外周園路について：無理はしない
- 外周園路は出来ればよいが無理をして造らずにUターンする場合は別の園路を通れるように造成すべき
- 全部ではなく一部出来る所を決めて整備し、園路に標識等を設置していく
- 数ヶ所池の水路におりれるようにする

<周遊コース設定>

◆第一優先で整備

- T-3の先端からのブリッジ含めて、早めに整備
- 第一優先にて作成すべき
- 早期に整備環状にする、近辺の風景が変わって見えるかも
- ぜひとも作ってもらいたい
- これを含め、竹の丘周辺、T-3へのアクセス道等道の整備は第1優先課題
- 遊歩道をつくるべき
- 一周できることが一番よいと思う
- 完全な外周路整備、T3と料金所間の湿地帯は踏み板路又はつり橋にする。

◆少しずつ整備

- 散策コース2km、ジョギングコース2kmを作る
- 新たな踏分け園路づくり
- パークセンターから公園奥へ向かう経路を複数整備したい。(直接竹の丘へ抜ける道など)
- 樹海コース、小池探検コース、池めぐりコース、公園学習コース、里山歴史コース、各ポイント
- センターから園内へのアプローチの1ルート
- 来園者の訪問を受け入れる地域と建造物と安全な道路、園路
- 探索コースの設定
 - ①池めぐり
 - ②竹林めぐり
 - ③樹間ゆったりコース
 - ④山桜、果実コース等

<竹の管理について>

◆竹の丘

- エリアを決めて、竹垣などの整備をして、タケノコを生産できるエリアとする
- 孟宗竹=タケノコ林と景観を楽しめる竹林エリアを決めよう
- 竹林と森のゾーン 小池B-C-H-D-E-Fを散策路で巡り竹林と林の雰囲気を楽しむゾーン
- 竹林と林のゾーンを明確に区分けし竹林ゾーンは管理して春の竹の子祭り、林ゾーンにはくぬぎ林を作りクワガタ、カブトムシもいるような林にする。カブトムシの養殖もして積極的に増やす。
- 孟宗竹を残すエリアを設定したらどうか、竹林整備ゾーン(原則的に竹林整備ゾーン以外の竹は皆伐したい。)
- 竹の伐採、管理
- 竹林の美しさを味わう

<竹の管理について>

◆バンパー広場

- バンパー広場にはコナラの自生苗が成長しつつある、これを保護してコナラ林に。
- 竹の丘の頂上には展望台を設置し周りの木を切らなくても大阪湾が見えるようにする。
- バンパー広場はイベント開催も可能なように斜面に観覧席を作る
- 竹の丘とバンパー広場は元気ゾーンとして子供が遊べるゾーンにする。
- 現状に近い既存の地形、樹木、森林に整備
- ゆっくりと林の中/池沿いを散策する
- 景色の良いとこで遠景を見ながら休憩

<水路・せせらぎの整備>

- 公園内に流入するすべての水路を整備する。(蛍・カワニナの棲む川に)
- 流れる小川をつくりたい。
- 地形に応じた排水路を作り、不要な湿地をなくす

<最終的な景色>

- 水生生物、野鳥、昆虫を身近に感じられる
- しばらく時間が潰せ、勉強会などでゆっくり時を過ごす

<コルゲート管>

◆撤去すべき

- 撤去し、自然石などで固めた親水水路にする
- 撤去し、石積みで水の流れ=小川を確保
- 水質が悪く景観上も見苦しいので地中に埋める
- 竹を埋めれば竹の節がフィルター役をし、且つ竹自身が水路となる
- 撤去し水路の両面は石組みして親水水路とする
- 撤去し小石等で再構築する
- 石積みなどで景観を壊さない方法で水路は残すべきである。
- 錆びた鉄の水路は撤去し、小石等で常時向井池に流れ込む小川にする
- 水が無いから地下に埋める
- コルゲートは撤去するのが基本
- 水路の維持管理の面から実施時期は検討
- 撤去して自然の流水路を整備する

◆撤去せずに対処

- 撤去には大変な労力を要するので、中に自然石を配した水路作り(ただ高速の排水が流れ込んでいるのかどうか)
- 最低でも石垣状にすること(自然石を利用)
- 水路を虫が飛べるように整備したい

<その他のゾーン>

- 果樹が多くお茶の幼木があちこちに生えており集約して果樹畑とお茶畑にする
- 樹林保存ゾーン
 - 元々の樹林を整備し、保存していく
 - 現在、樹木につけている竹の名札を色変しにくい「決まった大きさの木板」にし、記入する文字の大きさ・字体・内容等を統一し、また記入する文字の大きさ・字体・内容等を決め標準化して、樹木札を増やす
- ツバキ林、栗林、梅林、すもも林等特色をさらに強調しよう
- 炭焼き小屋エリアにかまど、ピザ窯、登り窯を設置し、楽しもう

